

その他の林業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15～16	山林において、竹の粉碎機を掃除中、下の空気口にたまったゴミを取り除こうとして、機械を動かしたまま指を入れてしまい、左手の中指と薬指を負傷した。	46～9	1
1	12～13	竹林より竹を出している時に竹の切株を見落とし、竹と竹の切株で指をはさんだ。	23	—
2	11～12	作業道脇に集積した間伐材を、フォワーダに積込作業中、被災者がバックハウ（グラブ付）に玉掛けワイヤーを取り付ける際、オペレーターが誤って、グラブを閉じたため右手をグラブにて挟み負傷した。	41～29	10
6	14～15	剪定作業中、切枝を重機にて移動させる時、誤って重機の爪に接触し、手を挟んでしまった。	75～9	1
7	15～16	作業場にて出荷の荷作り作業中、丸太に巻きダンボールを括りつけていたとき、丸太を載せる台と丸太の間で左手の中指を挟んだ。	63～9	1
11	10～11	地拵え作業中、玉切った材を木の棒を使い、もくっていたところ、その棒が折れて体が前につんのめった状態になり、踏み出した右足が木と木の間で挟まった。その日は、作業を続けたが、痛みが増したので受診したところ、右膝内側副靭帯損傷と診断された。	62～29	10

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html